

世界経済論 ―このかけがえのない世界を切り開く―

教授 小林尚朗

1. 研究内容

グローバル化が進む今日、豊かさと貧しさ、あるいは成長と停滞といった様々な事象は、たとえそれが個別の国家ごとに現れるとしても、全体としての世界経済の動向に影響を受けている。市場メカニズムに全幅の信頼を置いた「ワシントン・コンセンサス」が限界に直面するなか、中国の社会主義市場経済モデルが勃興してきたが、それが抱える問題もさまざまに指摘されている。現在の世界経済は、米中貿易戦争やCOVID-19への対応で大きく揺れ動いているのが現状である。果たして世界経済はどこに向かうのか？

このゼミでは、世界経済に関する基礎的な知識や現状を学習・理解したうえで、グローバル化が進む世界の諸問題を分析し、その解決のための諸方策を導くことを目的とする。具体的な研究テーマを各自（あるいはグループごと）が自由に設定し、ゼミでの報告・討論を通じてそれらのテーマを全体で共有し、小林ゼミ独自の世界経済論を構築していく。また、3年次にはグループで奨学論文などの懸賞論文、4年次には各自が自由なテーマのもとで卒業論文を執筆しなければならない。なお、担当教員は発展途上経済や、地域としては東アジアが専門であることから、国際的な開発支援や、中国、韓国、台湾、ASEANなどの東アジア経済に関心を持っている学生も大歓迎である。また、このゼミでは長期的な視点から、フェアトレードの活動にも取り組んでいるので、フェアトレードに関心のある学生にも集ってもらいたい。

2. ゼミの進め方

〈2年次〉

春学期・秋学期とも、世界経済論の基本的な文献を輪読方式で勉強する一方で、興味ある研究テーマごとのグループに別れ（アジア班、貿易班、etc.）、各班に3～4回程度の研究報告を行ってもらう予定。2つを同時並行的に進める。合宿は夏期休暇中と春期休暇中にそれぞれ実施する。また、毎時間、数名ずつ、前週までの新聞記事から気になるものをピックアップして紹介してもらう。

〈3年次〉

春学期はグループ研究が中心。必要に応じて輪読形式も継続する。商学部主催の奨学論文など、懸賞論文への応募の準備をする。秋学期は文献研究あるいは個人研究を行う。合宿は夏期休暇中と春期休暇中にそれぞれ実施する。また、長期休暇中を含め、学外での勉強会・見学会も行う。ビブリオバトルもやります。

〈4年次〉

春学期は輪読形式を中心に進めるが、卒業論文の準備という点では個人研究も同時に進める。全員が卒業論文を執筆するが、そのテーマを夏休みまでに決定する。秋学期は定期的に卒論の中間報告を実施しながら、ゼミ最後の時期なのでグループワークも行っていく。合宿は夏期休暇中と春期休暇中にそれぞれ実施する。

3. 教材

多くの文献・資料を使用するが、ゼミ生の関心に応じて適当な教材を選択したいので、その都度指示する。また、長期休暇前には読書リストを配付する（指定された冊数を読破し、書評を提出してもらう）。

4. 成績評価の方法

平常点で評価する（プレゼンテーションや発言を中心に、その他のゼミ活動への貢献なども考慮する）。

5. ゼミ入室試験（選考方法）

選考方法につきましては、Oh-o!Meijiにて、後日連絡します。

6. その他・志願者へのメッセージなど

15期生の募集です。大学生活を（人生を）真剣に楽しみながら、ゼミ活動に積極的に取り組んでくれる諸君を熱烈歓迎いたします。A. マーシャルの言葉のように、“cool head but warm heart”を持ち合わせた諸君と大いに議論・活動することを楽しみにしています。理想ばかりを語るのは問題ですが、学生や研究者が理想を語れない世の中は寂しい限りです。ゼミ活動を通じて、現実とつねに向き合いながら、我々の生きる世界について真剣に議論し、自分の考えを主張できる人間になってください。学生のうちに、卒業後も世界について真摯に考えられる蓄積を築いて下さい。ゼミ活動でも、大学生活でも、そして地球市民としても、「お客さま」になることなく、恵まれた環境に生まれた責任感をもって主体的に行動しましょう。

最後に大事なことですが、ゼミ活動の喜怒哀楽を満喫して、一生つきあえる大切な仲間を作ってください。